

JA職員での取り組み

年に2回、菊鹿地区出身の役職員で地域の美化活動に取り組んでいます。

また、菊鹿地区では地区で行われるイベントや青年部・女性部の積極的な活動を紹介する「きくかんだより」を定期的に発行しています。第3土曜日のふれあいデーに本誌「かもと」と一緒にお届けしています。



地区の美化活動



菊鹿地区

今日における政府・規制改革推進会議※の動向は、JAの総合事業を否定したり、准組合員の事業利用を制限するなど、農協解体ともいえる政府が求める「農協改革」を推し進めようとしています。この事に対し、私たちJA鹿本は、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を目指して自己改革に取り組んでいます。

今回は菊鹿地区の取り組みを紹介します。

※規制改革会議とは▶内閣府の諮問機関。委員14名で構成されている

青年部・女性部活動で地域を元気に!

青年部・女性部はJA鹿本菊鹿地区職員と一緒に食農教育以外に様々な活動を行っています。

青年部では「菊鹿盟友ヘルパー組織」を作り、盟友同士で農作業を共用することで、合理化と生産性の向上及び農業経営の発展、菊鹿地区の農業振興、農業経営の改善を図っています。



また、女性部は菊鹿地区の75歳以上の独居老人にお弁当を作り配布する活動や、地域の親子を対象とした料理教室の開催等、地域住民との交流を積極的に行っています。

イチゴ収穫・ジャム作り体験

今年度から新たな取り組みとして、女性部と協力して地域の親子を対象にイチゴの収穫とジャム作り体験を行っています。



女性部と子ども達がカレー作り

地域との交流を大切に

菊鹿地区では職員が青年部・女性部と一緒に「くらしの活動」の一環として食農教育活動や展示会等を行っています。



協同農園と展示会

地元の親子・住民を対象に毎年トウモロコシ栽培を行っています。青年部盟友・女性部員・菊鹿出身JA職員と一緒に8月に播種作業を行い、11月に収穫を行います。トウモロコシの収穫に併せて菊鹿地区の展示会も開催。

また、子ども達の食育活動も行っています。昨年は展示会の際に販売するカレー作りを女性部員と一緒に行いました。

協同農園と展示会は地域住民との交流の場となっています。



▲展示会



JA鹿本は各事業を通じ、
創造的自己改革の実現に向けて取り組みます！ 次月号に続く▶▶▶